

2021年度 南あわじ市中央公民館

子ども情報誌



日本一美しいと言われている（わんぱく塾の中では！）晴海ヶ丘からの夕焼けが、今年は最高に美しく見られました！
コロナの猛威もこの夕日のように、間もなく消えて無くなりそうな、そんな予感を感じざるを得ません……！（oh! あばれる〜）
かつて小学校の在った阿那賀と丸山では、今年も沢山の子どもたちがコロナに負けずにデイキャンプやナイトウォークを満喫しました。
廃校となった小学校は、密を避けての遊び場として、これからもわんぱく塾を支えてくれる存在となることでしょう。

今年度もコロナウイルスの影響で、わんぱく塾事業をはじめ南あわじ市が実施している青少年事業については中止や縮小が相次ぎました。第5波までの流行期にも、小学生の児童に対しては比較的感染が少なく、コロナ感染対策を徹底して行う事で、わんぱく塾事業は無事開催することが出来ました。

しかしながら、第6波の流行期には小学生の児童が感染者の大きな比重を占める状態になっていることを考えると、今後の青少年事業実施に於いては、これまでのコロナに対する考え方や感染対策を根本から見直す必要に迫られている状況です。

コロナ対策という理由で全ての事業を中止すると言う選択もあるとは思いますが、青少年教育は一年一年の積み重ねが重要であり、簡単に止めて良いものでもない事から、どのような対策を行えばコロナ禍でも事業実施ができるのかという難しい課題を抱えながら、来年度以降の運営を考えて行かなければなりません。

何はともあれ、第5波の直前に夏休み事業が、第6波の直前に冬休み事業が無事開催できたのは、皆様の持つ運によるものかもしれないと思います。早くコロナが収束して、以前のようにたくさん子どもたちと交わり合えるようになることを心から祈願申し上げます。

ボーイスカウト三原第4団委員長・わんぱく塾実行委員長 宮本 潤子

バイバイ！かすみ先生



昨年の「えのちゃん」に続いて、今年もわんぱく塾の名物講師である「かすみ先生」が引退することになりました。公民館の子ども絵画教室でも指導していた先生が突然東京に引っ越しするという話を聞いたのが昨年未でした。

ほんわかした雰囲気、毎週公民館に居る風景が日常になっていたため、突然の引退宣言に戸惑いましたが、新天地でも絵を教え続けるそうですので、これからもかすみ先生の活躍を遠くから応援しています！来年度からは新しい先生を向え、子ども絵画教室の開催を予定しております。



コロナは怖い「わんぱく塾」は楽しいなあ～！

わんぱく塾の始まりは、全児童選択機というコンセプトで、市内の全小学校から出来るだけ大勢の児童を集めて、少子化が進み異年齢交流や地域間交流の機会が少なくなった子どもたちに、集団遊びの中で人間性の構築を行い、健全育成を推進しようとする目的でした。

それが、昨年度から続くコロナの影響で、参加者数を出来るだけ少なくしての事業実施が必要になりました。また、わんぱく塾名物の「ななこ先生のクッキー作り」や「真夏のケーキ作り」も開催できず、沼島にも四万十川にも行けませんでした。そんな影響もあり、参加者総数が700名を切るまでに減少するという残念な1年間になりました。

来年度もコロナは終息していないかもしれません。でも、「明けない夜は無い」、「やまない雨は無い」といわれます。今年度の楽しかった思い出を振り返りながら、来年度こそ沢山の子どもたちがわんぱく塾に集まって、ワイワイガヤガヤと遊べる日常が帰ってくることを願いたいと思います。

人は人との関わりの中でこそ成長する生き物ですので、リモートばかりでは物足りないと感じる事が有ります。多くの仲間が集まって何かをする体験が子供たちの成長に必要なビタミン剤でありますので、これからも子どもたちの笑顔が見られるように、楽しい事業を計画していきます。来年度も楽しみにしてください。



わんぱく塾事務局 ワンパーク大王



発行者：わんぱく塾事務局 南あわじ市中央公民館

〒656-0475 南あわじ市市三條 880 TEL 0799-43-5038 Fax 0799-43-5138